



令和6年1月31日

2月「あゆみの森こども園」たより

浜北区寺島2889-1
TEL 053-585-2345
FAX 053-585-2344

寒さが厳しい季節ですが、子ども達は元気いっぱいです。天気の良い日には、外に出てボールを追いかけたり、かけっこをしたりして寒さ知らずで体を動かしています。2月は、生活発表会があります。子ども達の成長した姿を楽しみにしててください。

曜日	行事予定	お知らせ・お願い
1 木		○2日 豆まき会
2 金	豆まき会	立春を祝って、豆まき会を行います。白い布袋を持ってきてください。お菓子は、後援会費で購入させていただきます。
3 土		○5日 生活発表会リハーサル(園内)
4 日		対象：全園児
5 月	園内リハーサル	ホールでリハーサルを行います。
6 火	身体測定(以上児)	9時から始めますので、間に合うように登園してください。
7 水	身体測定(未満児) 避難訓練	○6日7日 身体測定
8 木	音楽ホールリハーサル	るくみーで成長をご確認ください。
9 金		○7日 避難訓練
10 土		火災が発生したと想定して予告なしで避難訓練を行います。煙を吸わないようにハンカチを口に当てます。幼児は、毎日持っているようにしましょう。確認をお願いします。
11 日	建国記念の日	○8日 生活発表会リハーサル(音楽ホール)
12 月	振替休日	対象：ゆめ組・そら組
13 火		サーラ音楽ホールで生活発表会のリハーサルを行います。そら組は、8:40分に園を出発しますので、間に合うように登園してください。
14 水		○17日 生活発表会
15 木		対象：全園児
16 金	生活発表会準備	場所：サーラ音楽ホール
17 土	生活発表会	詳しくは、お手紙でお知らせします。
18 日		*16日(金) 16:30~サーラホールで生活発表会の準備をします。職員が会場に行きますので、なるべく早いお迎えをしていただきますようご協力をお願い致します。
19 月	誕生会	○19日 誕生会
20 火		先生による出し物のプレゼントもあります。楽しみにしてください。
21 水	ジャガイモ植え	○21日 ジャガイモ植え
22 木	親子ひろば	次年度のお泊り保育で使用するジャガイモの種を植えるにいきます。
23 金	天皇誕生日	○27日 卒園遠足
24 土		対象：そら組
25 日		場所：浜松スポーツセンター スケートリンク
26 月		詳しくは、お手紙をご覧ください。
27 火	卒園遠足	<お知らせ・お願い>
28 水		・次年度用品の業者購入日は、3月4日(月)です。次年度のクラスの時間に購入をお願いします。詳しくは、注文時に配布した手紙をご覧ください。
29 木		・髪の毛を縛るシリコン製のゴムですが、飲み込む危険性があるため、てんし組わかば組ひかり組は、使用しないようお願いいたします。(切れた黒いゴムをひじきと間違えて口に入れてしまう事例がありました)

<3月の行事予定>

1日(金)	ひな祭り会
2日(土)	奉仕作業(今年度、最終回です。 参加されていない保護者の方は、必ずご参加ください。)
	後援会役員会
4日(月)	身体測定(以上児) 用品販売
5日(火)	身体測定(未満児)
7日(木)	避難訓練
8日(金)	親子ひろば サッカー大会(そら組)・「認定こども園きじのさと」の園児と対戦します
9日(土)	奉仕作業予備日(後援会役員会予備日)
13日(水)	誕生会
16日(土)	卒園式
22日(金)	修了式
25日(月)~31日(金)	次年度準備 新年度の準備をします。合同保育や次年度のクラスで保育を行います。 28日29日には、クラスの移動も行っていくますので、家庭保育ができる園児は、ご協力をお願いいたします。



1月18日、近隣の小学校・幼稚園・こども園の先生方にそら組の活動を見ていただき、連携をとりながらスムーズな就学を目指す連絡会が行われました。その話し合いの中で、小学校の先生が入園までに育ててほしい姿は何ですか?の問いに「自分の思いを言葉で伝えられる力を育ててほしいです。」とおっしゃられました。これは、毎年、お願いされることです。確かに、小学校に行ったときに、「トイレに行きたい」「ここがわかりません。」など自ら発信しなくてはいけないことがたくさんあります。自分の気持ちを伝えられる子にするためには、どのようにしたらよいのでしょうか?

<気持ちを伝えられる子を育てる~過保護・過干渉にならないために~>

必要以上の甘やかさや先回りである過保護・過干渉は、子供の自己肯定感や積極性を損なう事があります。親はよかれと思ひ、気づかずにやっている場合も少なくありません。振り返ってみましょう

□褒めるよりも叱るほうが多い。できないことがあると、叱ってしまう。

□子供への小言、ダメ出しが多い。つい「だめ!」と言ってしまふ。

□子供の先回りをする。

あれしてこれしてと指示を出してしまう。

□子供の交友関係に口を出す。

もちろん状況によっては親が関わらなくてはいけないこともありますが、やりすぎはお子さんにとってプラスにはなりません。では、どのように関わったらよいのでしょうか?

- ① できるだけ子供にやらせる。効率が悪くてもうまくできなくても見守り、認める。
 - ② 子供の意見や気持ちを聞く。子供が決定できるように待つ。アドバイスをする。
 - ③ 成長をフィードバックする。その子自身の過去の姿から成長できているところを褒める。
- ちょうどよい「放っておく」は、難しいかもしれませんが、我が子を考える子に育てるためには、必要かもしれません。振り返るだけでも良いので、やってみてください。